

..... 会 告

秋季講演会のお知らせ

日 時：2002年11月9日（土）14：00～

会 場：東京地学協会講堂

講 演：小池一之（駒澤大学地理学教室）

日本列島の地殻変動特性 「日本の海成段丘アトラス」から導かれる地域性

地学クラブのお知らせ

下記により地学クラブを開催いたします。多数ご参加くださるよう、お待ちいたしております。なお、講演終了後、1時間ほど講演者を囲み懇談の時間を設けますので、ご自由にご参加ください。

・11月19日（火）14：00～15：30

「富士山噴火予知と火山ハザードマップの考え方」

東京大学名誉教授 荒牧重雄

富士山のハザードマップを作るというプロジェクトは、単に図を作るだけではなく、特定の市町村を対象にした地域防災計画や、さらに広い地域を対象とした広域防災計画の立案の内容に立ち入って議論をするという点で、国レベルの画期的な計画である。将来の富士山噴火の予知の可能性と防災計画について概説する。

・12月20日（金）14：00～17：30

「榎本武揚の事蹟と開陽丸のルネサンス」

榎本武揚の事蹟と遺品、および開陽丸の発掘と復原について、通常より長く時間をとり、下記のような講演（仮題）と、遺品・出版物等の小展示を行う予定です。

「開催挨拶・概説」

西川 治（司会：東京大学名誉教授）

「榎本武揚のシベリア横断と遺品について」

榎本隆充（榎本光学研究所代表取締役）

「開陽丸のルネサンス」

石橋藤雄（(財)開陽丸青少年センター理事）

その後、引き続き年末懇談会が行われます。

2003年

・1月20日（月）14：00～15：30

「FM電波観測による地震予報の可能性について」

串田嘉男（八ヶ岳南麓天文台台長）

見越し線以遠のFM電波の後方散乱を利用した流星観測中に、特徴ある変動が観測されることに気づいた。この変動が地震活動と相関があることがわかり、1995年から観測を本格化してきた。現在までの観測で経験された様々な現象から、困難とされる地震発生予報の可能性を探る。

・3月20日（木）14：00～15：30

「埋立地の地質と地球物理」

香山一夫（千葉県水質保全研究所）

・4月18日（金）14：00～15：30

「タクリマカン沙漠の水文環境について」

高村弘毅（立正大学地球環境科学部）